資料 1-6

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名：　あいち小児保健医療総合センター

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。（令和８年５月１日現在）

１．病院の機能及び医師等の配置

項　　目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕看護師 PAE１名、管理栄養士 PAE６名（連携する NPO 法人スタッフを含む）	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数数	うち指導医数
内科			
小児科	7 名	5 名	3 名
皮膚科			
眼科			
耳鼻いんこう科			

２．アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

		実　　績（令和７年度）			今　後　の　予　定（令和８年度）		
		診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容
情報提供	講演会等	アレルギー科	医師	食物アレルギー：7 件　アトピー性皮膚炎：5 件　アレルギー総論：2 件	アレルギー科	医師	食物アレルギー：5 件
			教職員	食物アレルギー：1 件　アレルギー総論：1 件		栄養士	食物アレルギー：1 件
			栄養士	食物アレルギー：1 件		市民	食物アレルギー：1 件　アレルギー総論：1 件
			市民	食物アレルギー：2 件　アレルギー総論：2 件		アレルギー大学受講生、大学生	食物アレルギー：5 件　大学講義：10 件
			アレルギー大学受講生、大学生	食物アレルギー：5 件　大学講義：10 件			
	他		その他	食物アレルギー：1 件、アレルギー総論：1 件　総合アレルギー講習会実習担当：1 件		その他	総合アレルギー講習会実習担当：1 件
人材育成	研修会等		医師	食物アレルギー：5 件		医師	食物アレルギー：4 件
			教職員	食物アレルギー：1 件		教職員	食物アレルギー：1 件
			アレルギー大学受講生、大学生	食物アレルギー：1 件、アレルギー総論：1 件		アレルギー大学受講生、大学生	食物アレルギー：1 件、アレルギー総論：1 件
	他		その他	アレルギー総論：1 件		その他	アレルギー総論：1 件
助言指導			愛知県教育委員会	学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会委員（年２回）		愛知県教育委員会	学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会委員（年２回）

３．アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実　　績（令和７年度）	今　後　の　予　定（令和８年度）
診療	食物経口負荷試験 1444 件、食物経口摂取後の運動誘発試験を 106 件 薬剤アレルギー検査入院 23 件　消化管アレルギーに対する経口負荷試験 113 件 入院微量摂取継続療法＋入院経口免疫療法 4 件、スキンケア入院 3 件を行った。 日常的に外来経口免疫療法の指導を行っている 吸入抗原に対する舌下・皮下免疫療法を実施している 重症喘息、重症アトピー性皮膚炎患者に対する分子標的薬を使用した管理を行っている 看護師 PAE を中心とした体系的なスキンケア指導を行っている。 アナフィラキシー症例に対しては救急外来を中心に迅速に対応している。	左記診療の継続および地域医療機関との連携を強化すべく努力する
研究	学会発表：35 演題、誌上発表：26 報（うち英文 8 報）を行った。 当院主導の研究テーマ ・食物アレルギー児に対する緩徐微量経口免疫療法の検討 ・食物アレルギーに対する急速経口免疫療法に関する研究 ・食物アレルギー児に対する入院緩徐微量経口免疫療法の検討 ・乳幼児健診における食物アレルギー発症ハイリスク児の同定と適切な医療機関受診勧奨による発症予防効果の検証 ・木の実類アレルギーに対する症状誘発閾値量以下の抗原微量摂取の有効性に関する研究 ・食物アレルゲンの解析 ・食品に含まれるアレルゲンの変性、低アレルゲン化とアレルゲンコンポーネントに関する検討 ・クロバネキノコバエに対する有害反応は IgE 依存性のアレルギー反応か ・シズオカクロバネキノコバエの発生状況、診療状況調査 ・カシューナッツ特異的 IgE 抗体の重症度判定における有用性の検討 ・食物アレルギー児の Quality of Life ・経口免疫療法後の運動誘発症状の機序に関する検討 ・新生児・乳児消化管アレルギーと腸内菌叢（細菌+真菌）の関連 ・小児薬物過敏症診療の実態調査および診療プロトコールの検討・食物アレルギーと母乳の関連 ・食物アレルギー児におけるアドレナリン自己注射薬携行の実態と低下要因に関する検討	左に同じ

４．アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークと協働して、アレルギー大学の企画と講師・クリニックにおける出張栄養食事指導事業を行っている。